

# 週刊NY生活

www.nyseikatsu.com

NY生活プレス社 NO. 365 (週刊) 2011年9月17日土曜日

NEW YORK SEIKATSU PRESS, INC. ☎ (212) 213-6069  
18 EAST 41st STREET, SUITE 1202, NEW YORK, NY 10017

(3) [総合]

週刊NY生活 SHUKAN NEW YORK SEIKATSU

2011年(平成23年)9月17日(土)

## MEN'S COLUMN

NEW YORK SEIKATSU PRESS, INC.



### 笑顔の傘を世界で開く



タイムズスクエアでグラウンド・ゼロに向けて開かれた笑顔の傘 (10日午前9時すぎ、撮影・三浦良一)

●動画が見られます デジタル版で写真をクリックすると動画が見られます

アートディレクター

### 水谷 孝次さん

「MERRY」にしようと思いついた。傘を広げると

「MERRY」にしようと思いついた。傘を広げると

米同時多発テロから10年を迎えたニューヨークで9日と10日、笑顔の傘をプリントした50本の傘を開いた。笑顔で平和への願いや未来への希望を発信するメリー・プロジェクトを主宰し、新しいデザインを展開している。

2008年の北京オリンピック開会式をはじめとして、インドネシアの津波被災地、被爆65周年を迎える広島・長崎など、主に自然災害や戦争など負の遺産を持つ地で「笑顔の傘」を広げてきた。

メリー・プロジェクトを始めたのは1999年。広告デザイナーとして名声と富を手にした絶頂期に、身も心も消耗してしまった自分、気づき、大きな仕事を断り、社会的・文化的なことと目を向けていこうと決意した。

アメリカで撮った少女の笑顔の写真を見ていて、笑顔のプロジェクトを直感してからは、「世の中をよくしたい」という情熱で多くの賛同を得て、世界中で感動を呼んでいる。コンセプトを理解している自分が撮らなければと、26か国3万人以上の笑顔自ら撮影してきた。

ハッピーより意味が広く、人によって解釈が違う「MERRY」にしようと思いついた。傘を広げると

米同時多発テロから10年を迎えたニューヨークで9日と10日、笑顔の傘をプリントした50本の傘を開いた。笑顔で平和への願いや未来への希望を発信するメリー・プロジェクトを主宰し、新しいデザインを展開している。

2008年の北京オリンピック開会式をはじめとして、インドネシアの津波被災地、被爆65周年を迎える広島・長崎など、主に自然災害や戦争など負の遺産を持つ地で「笑顔の傘」を広げてきた。

メリー・プロジェクトを始めたのは1999年。広告デザイナーとして名声と富を手にした絶頂期に、身も心も消耗してしまった自分、気づき、大きな仕事を断り、社会的・文化的なことと目を向けていこうと決意した。

アメリカで撮った少女の笑顔の写真を見ていて、笑顔のプロジェクトを直感してからは、「世の中をよくしたい」という情熱で多くの賛同を得て、世界中で感動を呼んでいる。コンセプトを理解している自分が撮らなければと、26か国3万人以上の笑顔自ら撮影してきた。

ハッピーより意味が広く、人によって解釈が違う「MERRY」にしようと思いついた。傘を広げると

米同時多発テロから10年を迎えたニューヨークで9日と10日、笑顔の傘をプリントした50本の傘を開いた。笑顔で平和への願いや未来への希望を発信するメリー・プロジェクトを主宰し、新しいデザインを展開している。

2008年の北京オリンピック開会式をはじめとして、インドネシアの津波被災地、被爆65周年を迎える広島・長崎など、主に自然災害や戦争など負の遺産を持つ地で「笑顔の傘」を広げてきた。

メリー・プロジェクトを始めたのは1999年。広告デザイナーとして名声と富を手にした絶頂期に、身も心も消耗してしまった自分、気づき、大きな仕事を断り、社会的・文化的なことと目を向けていこうと決意した。

アメリカで撮った少女の笑顔の写真を見ていて、笑顔のプロジェクトを直感してからは、「世の中をよくしたい」という情熱で多くの賛同を得て、世界中で感動を呼んでいる。コンセプトを理解している自分が撮らなければと、26か国3万人以上の笑顔自ら撮影してきた。

ハッピーより意味が広く、人によって解釈が違う「MERRY」にしようと思いついた。傘を広げると